

保護者の皆様

平成 27 年度 学校評価【後期】について

京都市立淳風小学校

学校評価へのご協力をいただき、ありがとうございます。保護者の皆様からは 98 通（回答率 86.9%）の回答をいただきました。これは、平成 27 年度の学校評価【前期】（回答率 82.4%）に比べ、4.5% 回答率が高くなっており、より多くの保護者の皆様の声（評価）を聞かせていただくことができて、ありがたく思っています。

今回の学校評価につきましては、保護者・教職員の各評価項目におきまして、前期と後期の比較を行いました。

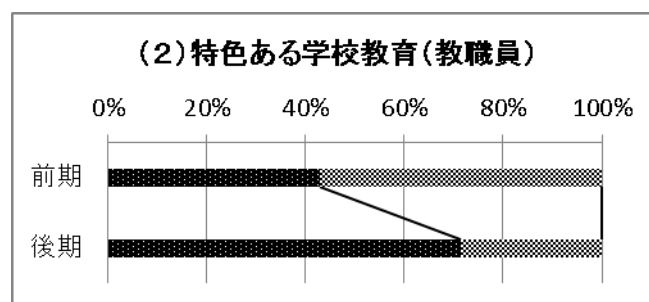
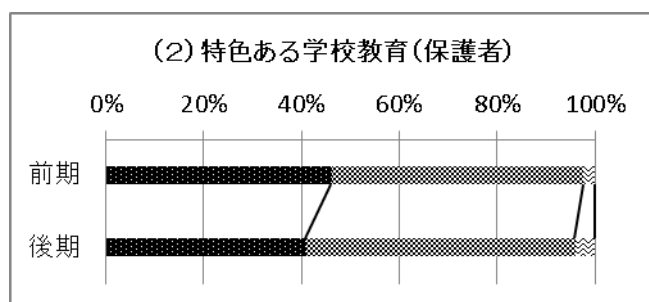
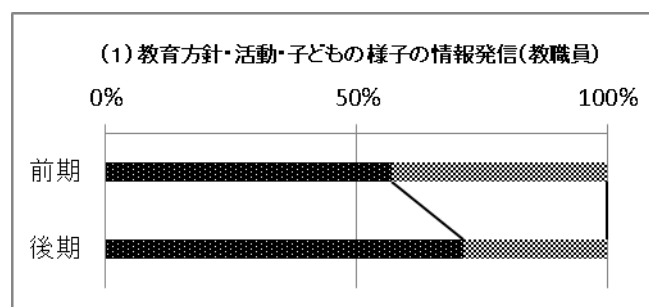
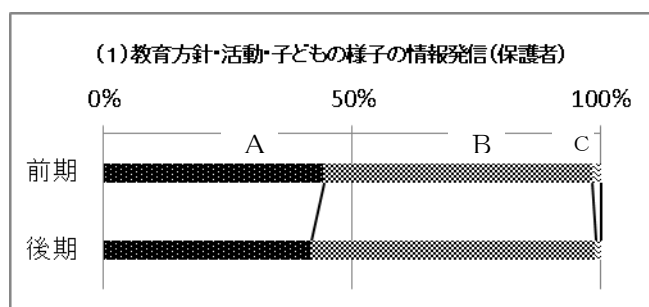
学校運営協議会におきましても、評価結果や自由記述の分析・考察をしていただき、学校改善に向けての具体案の検討を行いましたことも含めまして、お知らせいたします。

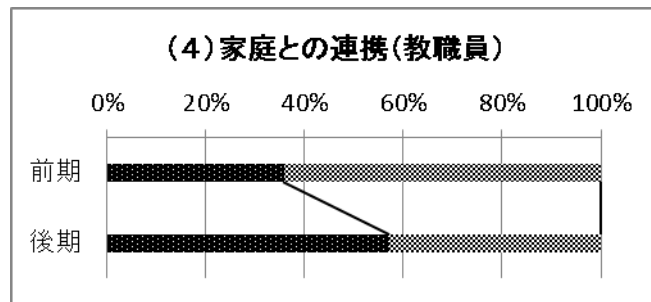
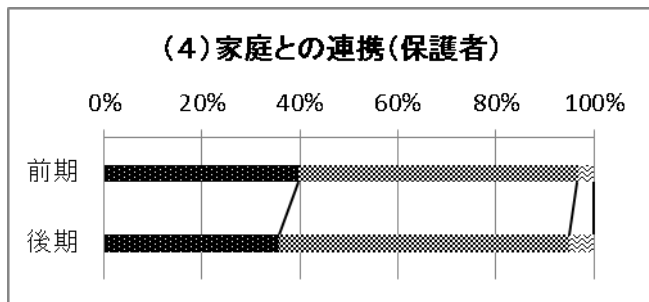
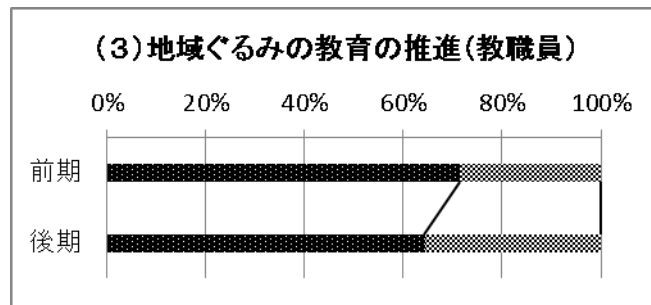
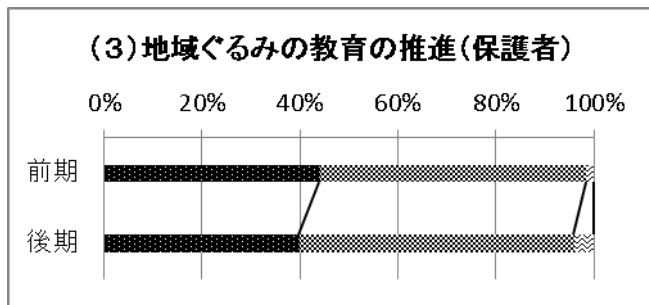
< 集計結果の見方について >

保護者評価と教職員評価を比較するため、評価項目を同じにしました。各評価項目について評価していただき、グラフ右から A（そう思う）、B（どちらかといえばそう思う）をプラス評価、C（どちらかといえばそう思わない）、D（そう思わない）をマイナス評価と評価することとし、保護者と教職員について前期と後期を比較したグラフで表しています。

自由記述については、同じような内容についてはまとめさせていただいたり、要約させていただいたりして示させていただきました。

◇ 学校・家庭・地域の連携

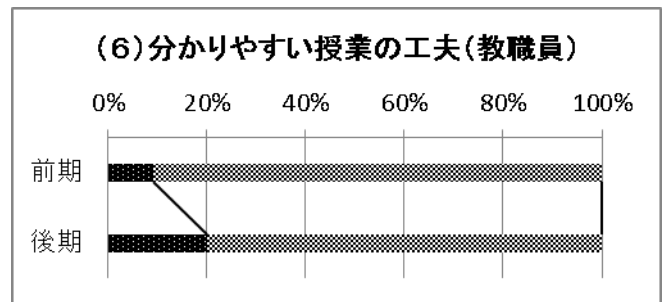
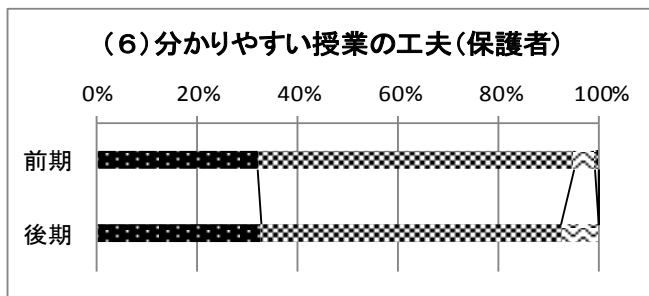
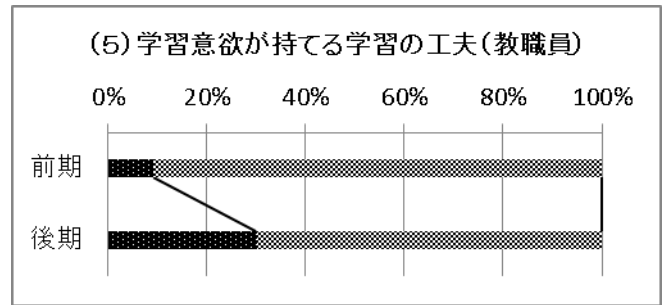
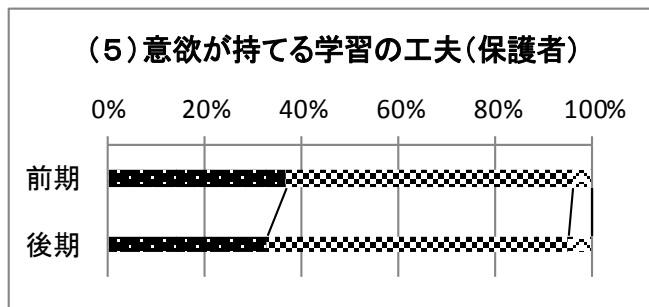




- ・保護者では、『学校・家庭・地域の連携』の4項目共に約95%のプラス評価でしたが、どの項目も、A(そう思う)が約5%減少しています。もっと多くの情報発信や家庭との連携を望まれていると考えられます。
- ・教職員評価では(1)から(4)の全ての項目において、プラス評価が100%であり、特に(1)(2)(4)は、A評価は約15～30%増加しました。学校・学級の実践や子どもの様子を積極的に発信したり、家庭との連携を大切にしたりしています。さらに、取組の理解や子どもの姿を伝えるようにし、地域教育など本校の特色となる教育を推進していきます。
- ・ホームページのアクセス数が増えていることから、情報発信のツールとしてホームページが有効であると言えます。
- ・緊急時の対応としてメール配信を今年度より実施していますが、まだまだ活用しきれていませんでしたので、次年度にはPTAと連携し、さらに活用していきたいです。

- 日々の学級のおたよりがとてもわかりやすく、子どもの学校の様子を見ている気分です。
- 近隣には高校や大学等の教育機関があり、同時にまだまだ地域の潜在的な力があると思います。それらをうまく使って、見守り活動や学び教室の運営ができれば、子どももいろいろな方と交流ができ、コミュニケーション能力向上等につながるのではと思います。
- 子どもの持って帰ってくる書類よりホームページの方が見やすいと思っています。情報をタイムリーに更新してもらえていることはうれしいです。
- とても良い学校だと思います。
- 日々の学級のおたよりがとてもきめ細かく感心しています。
- 小規模校とはいえ、少人数の教職員で業務を行うのは大変だと思います。それでも笑顔で対応してくださいまして、ありがとうございます。
- いつもありがとうございます。とてもよいと思います。

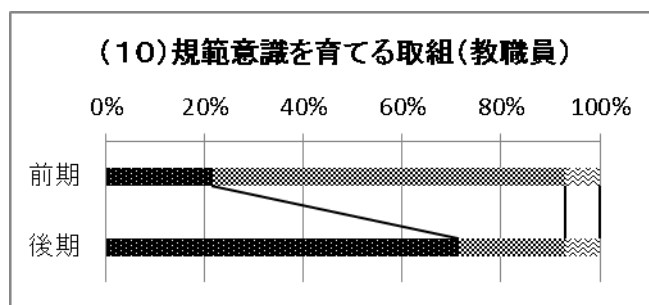
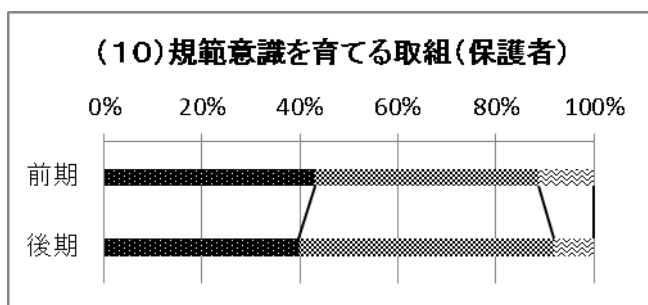
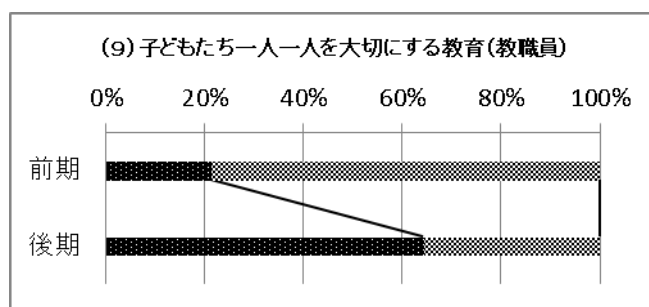
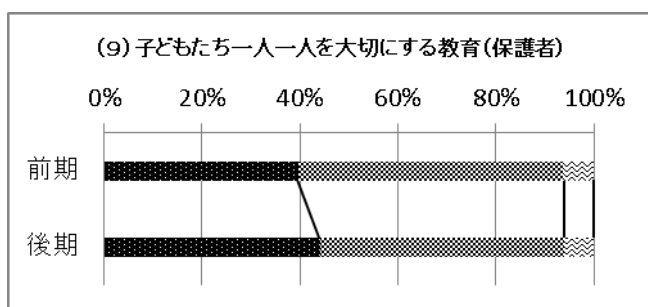
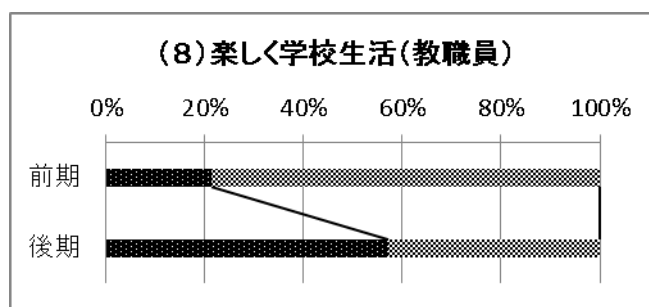
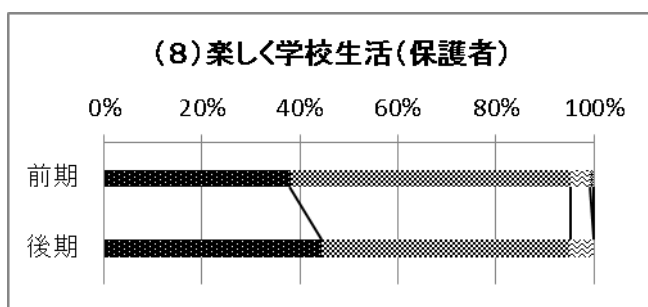
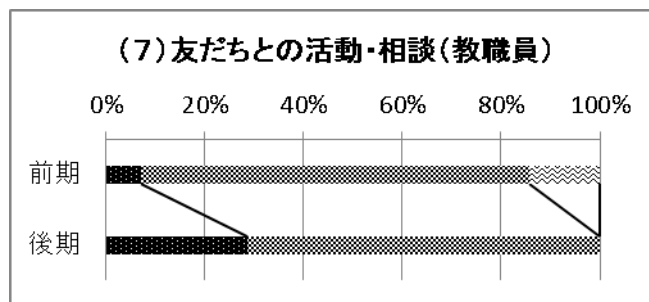
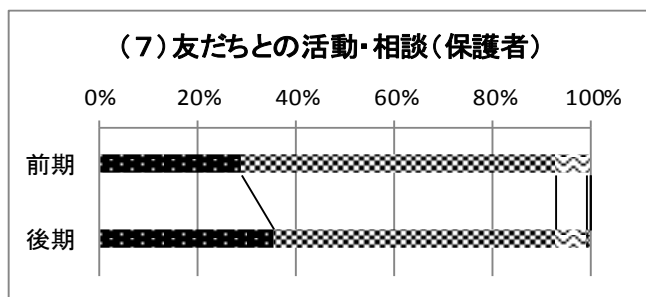
◇ 確かな学力



- ・ (5)「意欲が持てる学習の工夫」(6)「分かりやすい授業の工夫」は、保護者評価では約90%のプラス評価、教職員評価では2項目とも100%のプラス評価でした。
- ・ 学習では、全学年で、見通しをもって主体的に学習をしていけるように、「めあて」と「ふりかえり」を大切にした授業を心がけています。また、学習のルールについても全校で見直し、学習を深めていけるような学級づくりに取り組んでいます。
- ・ 体験学習を大切にし、地域の方にゲストティーチャーとして来校いただき、車いす体験・昔遊び体験・銅版レリーフ制作・和菓子体験・和食の調理体験・ぬか床づくり体験・京鹿の子絞り体験・金箔体験等本当に貴重な体験をさせていただいています。また、職場体験や地域探検等の地域学習を推進し、子どもが主体的に、興味関心をもって探究していけるような授業の工夫を行っています。
- ・ 今年度より朝学習の時間を、毎週月曜日はリラクセーションやボディートーク等心を落ち着かせて1週間をスタートできる取組(ほっとタイム)を実施し、火曜日～金曜日は朝読書をしています。静かな落ち着いた気持ちで一日のスタートをできるようにするとともに、読書の時間を確保することで豊かな心情を育て、言語活動を充実していけるように取り組んでいます。
- ・ 毎月1回読書週間に、図書館ボランティアの保護者の方に始業前の図書館の開館と、朝学習での読み聞かせをしていただいています。子どもたちは読み聞かせをとても楽しみにしています。子どもたちの読書活動を支援していただき、読書が好きな子どもが増えています。
- ・ 昼のモジュール学習では、夏休み明けより、基礎・基本の学習の定着を図るために、子ども一人一人のペースに合わせたプリントによる学習を実施しています。苦手なところを克服し、自分のペースに合わせた学習をしていけるので、一生懸命学習に取り組んでいます。また、3年生以上では、一人一台タブレットを活用した基礎・基本の学習に取り組んでいます。「もっとやりたい」と大変意欲的に学習に取り組む姿がどの学年にも見られます。

- 目標をもって宿題や運動をがんばっています。これからもよろしくお願いします。
- 担任の先生には、子どもの勉強の苦手なところを、こちらにもていねいに伝えてくださり、学校も楽しく行っています。先生方の熱心さに感謝しております。いつもありがとうございます。
- 日頃の取組はよくできていると思います。
- 総合学習やわくわく学習等で、子どもたちに様々な体験をする機会を設けていただき、本当にありがとうございます。

◇ 豊かな心

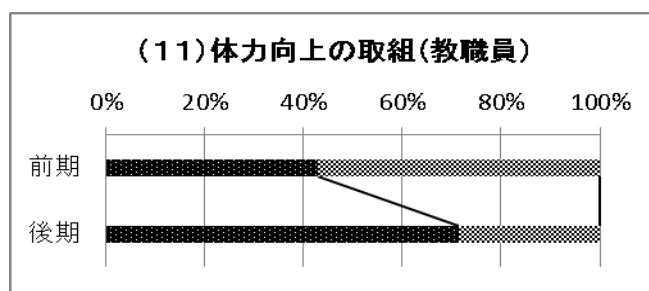
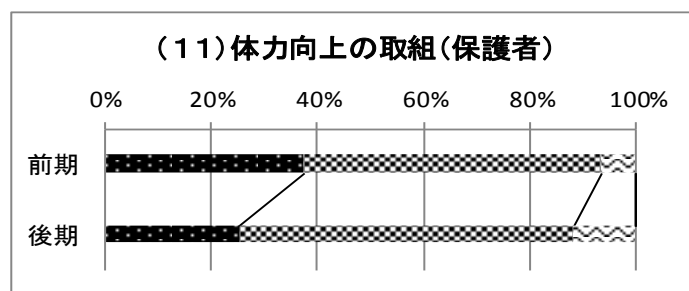


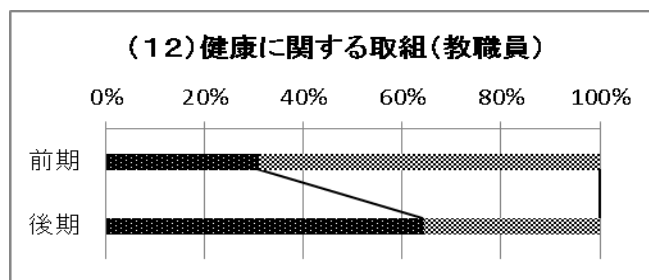
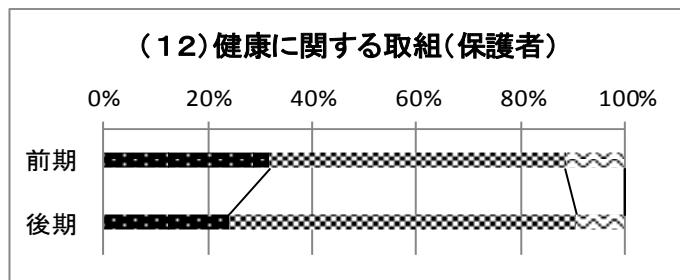
- ・ (7)「友達との活動・相談」(8)「楽しく学校生活」(9)「子どもたち一人一人を大切にする教育」(10)「規範意識を育てる取組」の4項目において、保護者評価は90%以上のプラス評価でした。教職員評価も約90～100%のプラス評価でした。

- ・（７）（８）（９）項目においては、保護者は約５％のＡ評価の増加が見られ、楽しく、仲良く学校生活を送っていると感じておられることがわかりました。（１０）項目において、保護者は約３％のＡ評価の減少が見られました。規範意識については、できている子が多いけれども、さらにけじめをつけたルールとマナーを守れる子どもを育てる働きかけを地域・保護者の方と連携を図りながら取り組んでいきたいです。
- ・ほとんどの子どもは楽しい学校生活を送れているようではありますが、数値だけにとらわれず、一人一人の子どもにしっかりと目を向けていきたいです。友達の輪に入れない子どもはいないか、友達同士の関係が修復されたか、教職員の子どものに対する声掛けや指導は適切であったかななどを振り返り反省し、教職員が子どもの思いを受け止め、子どもに寄り添った指導を心がけていきます。また、人権教育のさらなる充実を図っていきます。
- ・今年度の重点目標として「あたたかな聞き方とやさしい話し方」ができるようになろうと呼びかけ続けました。人間関係力を高め、適切な自己表現と相手を思いやるやさしさを育ていけるように取り組んできました。少しずつ意識してかかわることができる姿も見られてきていますが、継続して取り組んでいきたいです。
- ・あいさつの取組も、あいさつの励行の指導とともに児童会の取組として子どもたちが自らあいさつをしようという気持ちをもてるような取組を進めています。あいさつは、人と人とがつながる第一歩です。心を込めたあいさつができるように、様々な機会に、「なぜあいさつが大切か」「どんなあいさつをしたら自分も相手も気持ちがいいか」学級で話し合っています。ご家庭でも、あいさつができているか振り返っていただき、気持ちのよいあいさつのできる子どもを育てていきたいです。
- ・道徳教育は、「特別の教科 道徳」と位置付けられます。今回の改訂では、道徳教育を「いじめの防止」につなげる趣旨を明示し、「読み物道徳」から子ども自ら「考える道徳」「議論する道徳」への転換を意図しています。子どもが主体的に判断し、道徳的価値を理解して実践していけるように、授業とともにあらゆる教育活動の中で、道徳的实践態度を育てていきたいです。

- 人数が少ない分、生徒一人一人をよく見ていただいているのではないかと思います。
- 毎日楽しそうに行っているようで安心しています。
- 少人数学級なので、とても目が行き届いていると思います。
- 以前よりもあいさつをしてくれる児童が増えたと思います。
- お忙しいのに、先生方には子どもことで相談に乗っていただき、お世話になっています。いろいろと難しい問題もある時もありましたが、最近は落ち着いてきたように思います。

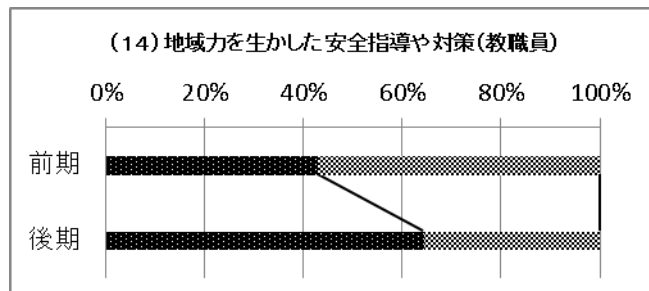
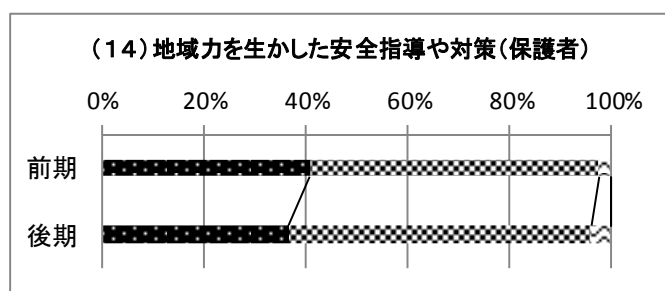
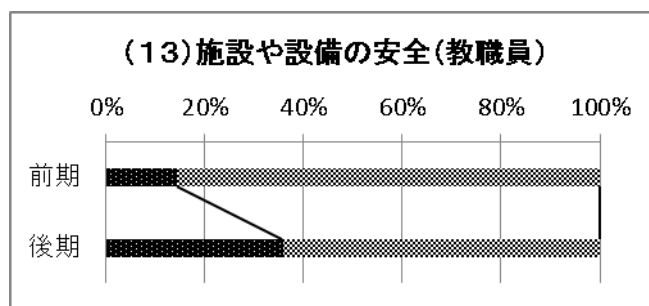
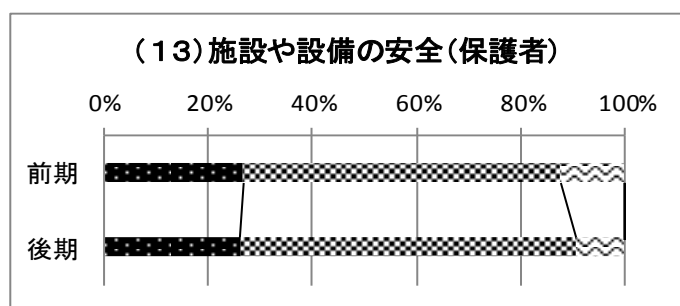
◇ 健やかな体





- ・ (11)「体力向上の取組」(12)「健康に関する取組」の2項目において、保護者評価は約90%のプラス評価、教職員評価は(11)(12)共に100%のプラス評価でした。ただ、(11)(12)項目の保護者評価のA評価が約10%減少しています。本校の研究を「健康教育」とし、体育領域に加え保健領域にも研究を広げ、また、「ほっとタイム」(健康教育の視点からの心を豊かにする教育)を実施しています。「子ども自ら健康について考え実践する」「生涯にわたって自分の健康の保持増進に取り組む」ことを目指して取組を進めています。来年度も、子どもが自ら健康を意識する取組を継続していきます。
- ・ 日常における健康への取組は、ご家庭のご協力も不可欠です。特に今年度は、毎月1回「親子歯みがきタイム」を設定し、ご家庭での歯みがきの取組をお願いしてきました。実施後の感想で、親子の触れ合いの機会となったことや歯の健康の大切さについて改めて振り返る機会となったというご意見もいただきましたので、来年度も継続していきたいと思います。ご協力よろしくお願いいたします。また、就寝・起床時刻、睡眠時間など規則正しい生活リズムを整えることが健康づくりにつながりますので、子どもへの声掛けやご協力をお願いいたします。

◇ 安全・教育環境



- ・ (13)「施設や設備の安全」(14)「地域力を生かした安全指導や対策」の2項目において、保護者は約90～95%、教職員は100%のプラス評価でした。
- ・ 統合後の通学路設定に向けての校外補導町委員の保護者の方への通学路の状況や危険個所

のアンケートでは、大宮通りや大宮花屋町・五条大宮・大宮高辻の交差点などの危険個所が指摘されています。今後、統合後に安全に登下校していけるように、学校・PTA・地域が連携して再度点検しつつ、十分安全に配慮した通学路と危険個所についての改善策を相談させていただきます。

- ・大宮五条と花屋町の交差点で、PTAの皆さんが輪番で立っていただいたり、郁文校区の交通安全対策協議会の方が立っていただいたりして、朝の登校時の安全確保をしていただいています。ありがとうございます。
- ・学校におきましても、日頃から交通安全指導を行っていますが、交通安全教室や自転車教室、交通安全宣言記念式典、安全の日における交通安全指導などで、子どもたちに安全指導を継続的に行っています。
- ・放課後・下校時の見守り活動では、地域やPTAの皆様に、子どもたちの安全を見守っていただき、ありがとうございます。
- ・昨年度より設置されている「緊急地震速報発報端末」を活用して、月に1回、火災、地震、不審者などいろいろな場合や時間を設定して避難訓練を行っています。避難時の教職員の動きを確認するとともに、子どもには避難訓練について振り返ることもしています。

◇ その他

- ・学校統合の進捗状況については、醒泉・淳風統合校開校準備協議会や学校からのお知らせで発信しています。平成29年4月の統合に向けて、教育構想や学校行事、教育活動などを協議したり、学年間の学習を交流したりしています。来年度はさらに、交流の機会を増やし、子どもたちが統合後にスムーズな学校生活を送れるように取り組んでいきます。
- ・部活動については、今年度も、卓球・バレーボール・ゲートボール・伝統文化・音楽バンド部で活動しています。子どもたちは自分の興味・関心をもとに部活動に参加し、技能を伸ばしたり、協力し合ったりして友だちと楽しく活動しています。記録会や交流会、発表会等自分の練習してきた成果を発揮する場もあります。それぞれの良さを伸ばせる場として来年度も部活動を充実させて取り組んでいきたいです。また、部活動の指導には、保護者の方、地域の方などたくさんの方々にご支援いただいています。本当にありがとうございます。
- ・来年度は、閉校という大きな取組がありますので、下記のご意見のように、掃除の取組を徹底し、学び舎を大切にしていきたいと思います。

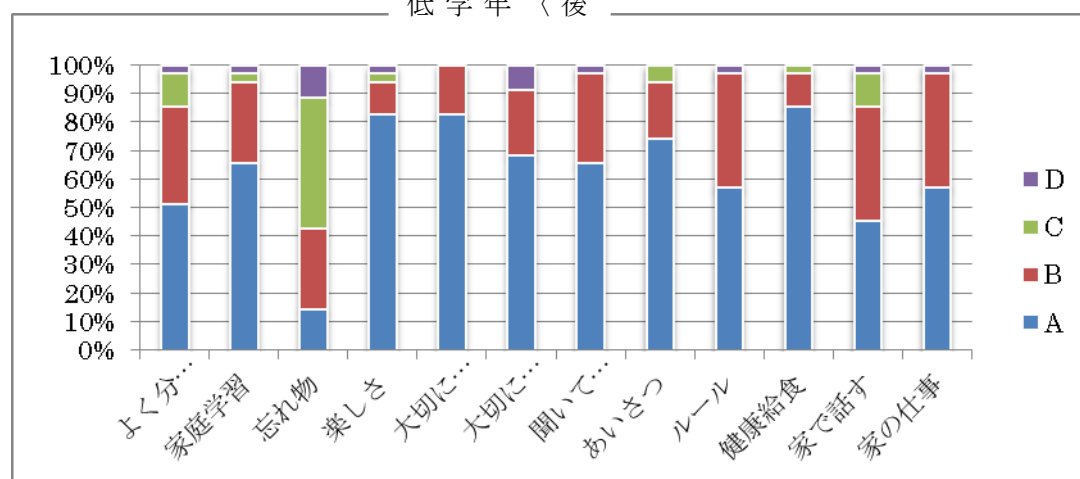
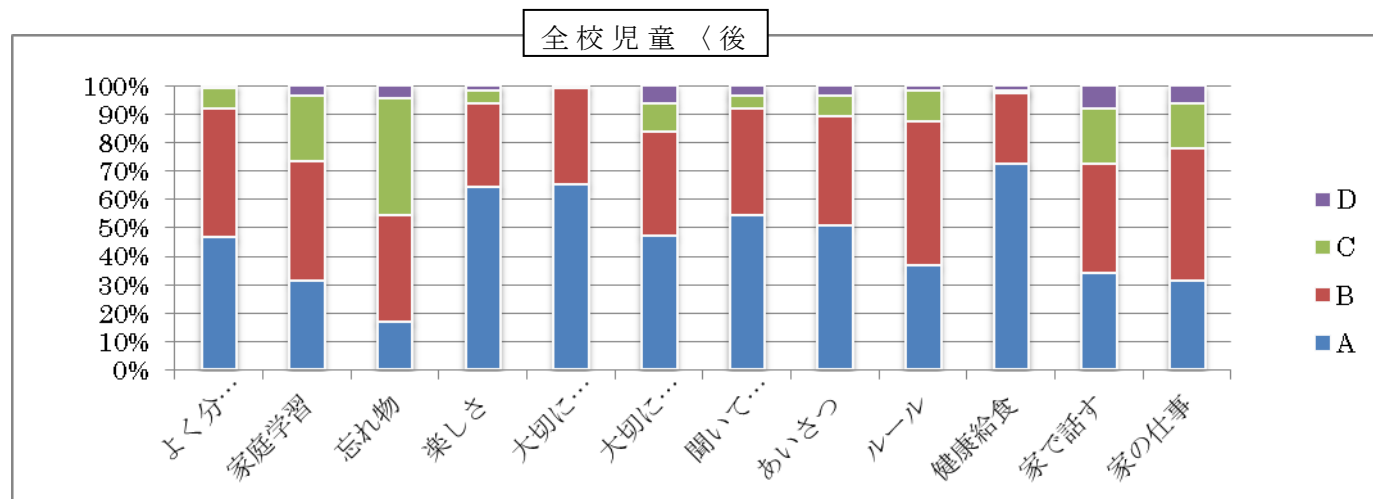
○子どもの意見なのですが、もう少し掃除の時間を設け、しっかりと掃除がしたいそうです。
○統合に向けて、子どもたちが安心して準備ができるようにお願いします。

【学校運営協議会での意見交換の概要】

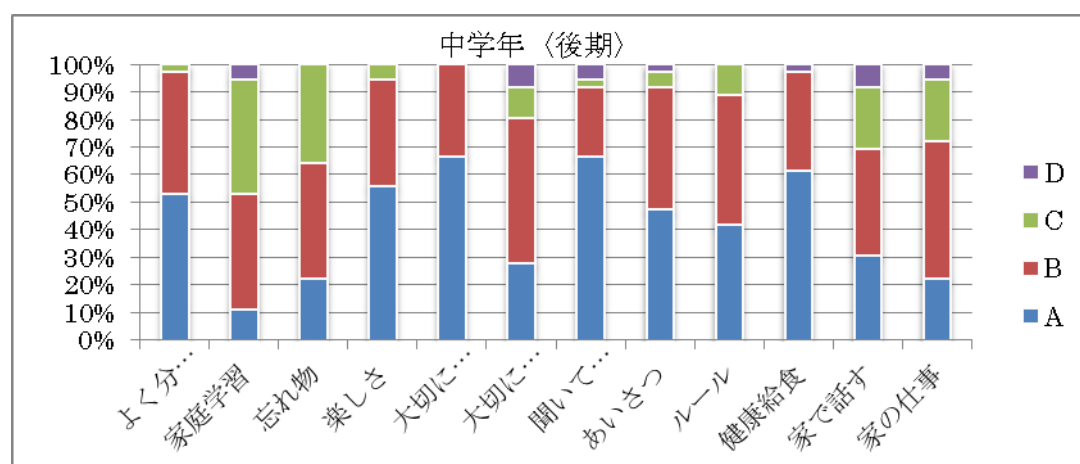
- ・学校の取組については、しっかりとやってもらっていると思う。
- ・この学校評価の結果のお知らせは、もっと行間をあける等見やすく工夫して、誰もが読みやすいものにしてほしい。(←さっそく行間をあけて、作成し直しました。)
- ・閉校に向けての取組もいろいろと検討していただいていると思うが、学校や地域を愛し、誇りとできる子どもたちになってくれることを期待している。
- ・自治連合会、教育後援会の方も、閉校に向けての取組に協力していきたい。

- ・閉校後も学校施設を教育施設という位置づけを大切にし、地域住民が集える場としていきたい。
- ・南側（プール側）の塀は少し殺風景な感じがするので、柱部分を加えるなど、工夫があるとよい。
- ・塀の塗装の際に、有機溶剤などを使用することになるかと思うので、環境への配慮を考えて安全第一に進めてもらいたい。
- ・工事後のプールの復旧については、検討をお願いしたい。

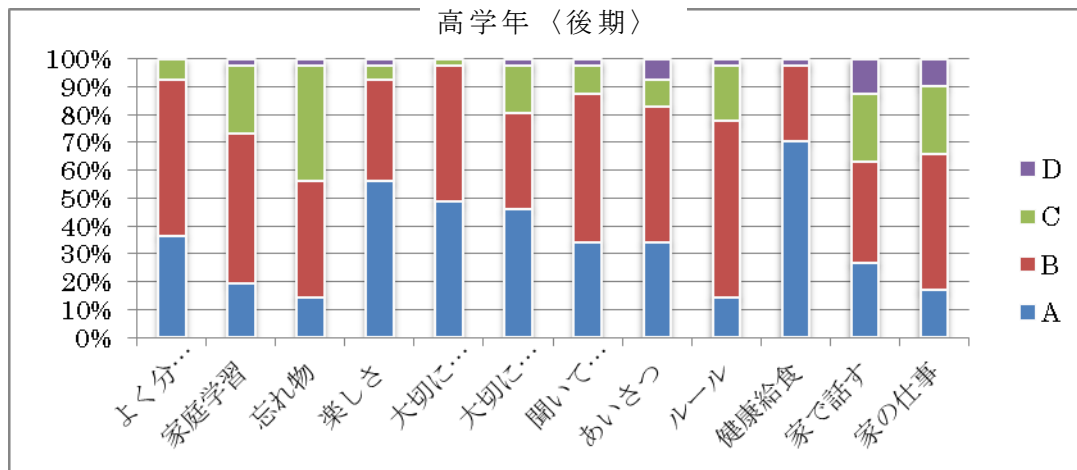
【平成 27 年度 後期 児童アンケート（112名）結果】



低学年
＜ 35 名 ＞



中学年
＜ 36 名 ＞



高学年
< 41名 >

児童に対しては、12の質問項目に対して「している」「まあまあしている」「あまりしていない」「していない」の4段階の選択肢で解答する形でアンケートを実施しました。

「授業がよくわかりますか。」の質問では、中・高学年では変化は見られませんが、低学年ではC・Dと答える児童が2倍に増えました。学年の後半は学習内容が難しくなってきた、復習範囲も増えることから前期と同じペースではうまくいかないことが分かっている中・高学年の児童は対処できるが、低学年児童には難易度が上がったように感じているようです。

「家庭学習」においては、高学年では、C・Dが1割くらい減り、A・Bが1割くらい増えました。これは担任と家庭での働きかけの成果が出ていると思われます。中学年での推移は変化ありませんが、低学年ではA・Bの中でBが倍に増え、Aが減りました。前項目の「授業がよくわかる」の推移にも関連し、学習の難易度が高くなったり、範囲が増えたりすると、やりにくさを感じている児童も増えています。また、家庭学習が定着しないと次の授業内容が分かりにくいという悪循環も発生していると考えられます。理解が不十分と思われる児童に対しての取組として、学校では個に応じた家庭学習の進め方・内容を工夫し、今までに引き続き家庭との連携を密にし、家庭での学習習慣の大切さを認識していただき、情報の共有、手が届きそうな目標の設定など協力して進めていくことが大切です。3年生以上においては、ジョイントプログラム、プレジョイントプログラムの前には補習時間を設け、テストの受け方に戸惑いを感じさせないようにし、出題内容に沿った復習プリントを使って学習しています。高学年においては、自分で課題を見つけ、計画的に学習を進める方法も助言・指導しています。そのため、前回よりは、抵抗感を持たずに臨めた児童が増えたようです。結果の点数も大切ではありますが、学校では児童一人一人が達成感の味あえる学習の進め方に取り組んでいます。

「学習用具は忘れずに持ってきていますか」においては、全体的にC・Dの推移が増えています。(低学年10%→20%, 中学年8%→13%, 高学年15%→18%) 低学年では、2倍に増えていることが懸念されます。学年が上がると気の緩みや慣れという原因があると思われます。低学年においては、持ち物の準備については、まだまだ手をかけて一緒に生活習慣をつけていく時期でありますので、親子のふれあいや丁寧な関わりの中から自立心が芽生え、育っていきます。保護者の方との懇談などを通して、ともに児童たちを励ましていきたいと思ひます。

「学校は楽しいですか」においては、90%以上が「楽しい」と答えています。C・Dの推移が減っていることから、学校は楽しいと感じている子が増えています。学校の重点目標にあげている「あたたかな聞き方」「やさしい話し方」「ありがとう」を意識する児童が多くなってきました。学校をあたたかい、居心地のよい居場所と感じている児童が増えてきたように思ひま

す。

「友達を大切にしていますか」においては、ほぼ全員「大切にしている」と答えています。淳風校の子どもの特徴であるやさしさの表れです。保護者・地域・教職員のあたたかい愛情を感じて成長し、思いやりの心が育っています。

「学校の人や友だちから大切にされていると思いますか」においては、C・Dの「されてない」と感じていた児童が5%減りました。児童のコミュニケーション力が育ってきたことや、一人一人に丁寧な対応を心掛けている教職員の働きかけが身を結び、居心地のよい場所、信頼できる関係と感じている児童が増えました。

「先生に聞いてもらう」においては、高学年で若干、C・Dを答えた児童が増えています。これからも教師からの心のこもったあたたかい働きかけを続け、コミュニケーション能力を高められるように取り組んでいきます。

「あいさつ」に関しては、90%以上の児童は「できている」と答えていて前回と推移の変化はありません。「できている」と思っている児童の意識と、「あいさつができる子になってほしい」と思う教職員や保護者の方の意識に温度差があるようです。「あいさつ」は人としての基本である大切なことであるので、今後の最重要課題として全校で取り組んでいきます。

「ルールを守る」においても、全体の推移は変化ありませんが、Aと答えた児童が若干減っています。折に触れ、約束やきまりについて児童たちと見直し、確認し合い、しっかり規範意識を育てていきたいと思えます。

給食や健康生活についての関心は高く、継続して頑張っている姿が見られます。学校と家庭との連携がとれており、日頃の健康教育の成果が実を結んでいるようです。

「学校であったことを、家で話しますか」においては、低学年では変化が見られませんが、中学年では2倍、高学年では1.5倍ほどC・Dが増え、A・Bが10%下がっています。放課後の過ごし方が保護者の方から離れることや思春期に入り自己開示をしにくくなることが考えられます。小学生では保護者の方との関わり（会話やスキンシップ）は大切です。学校からは親子歯磨きタイムのような親子で取り組めるような提案をしていきたいです。

「家の仕事」については、低学年ではC・Dと答えた児童がほぼいなくなりました。中学年では10%ほど増え、高学年では変化はありません。低学年の児童は学校でも、お手伝いを意欲的にする姿がよく見られます。褒められるとうれしいという素直な気持ちが行動に現れています。中学年では、学習量や遊びの活動が増え、部活動や習い事が始まり生活パターンが変わってくる時期であり変化が感じられます。

児童全体の様子から、たてわり活動では高学年がリーダーシップをとり、低学年は高学年を頼りし、縦学年のよい関わり方が築けています。

少規模校であることから、教職員が児童一人一人の顔と名前を一致させられるので関わることもできるなど、丁寧に対応できることは淳風校の強みです。

これからも地域、保護者の方との連携を大切にしながら温かな環境の中で、児童を育てていけるように取り組んでいきたいです。